

日々の授業で実践する「話すこと」の 指導と評価の提案

根岸雅史(東京外国語大学)

長沼君主(東海大学)

工藤洋路(玉川大学)

津久井貴之(お茶の水女子大学附属高等学校)

途中、ペアワークがあります。すぐにペアを作れるようにお座りいただければ幸いです。

<プログラム>

進行:工藤洋路

- ①話すことに関する問題提起Ⅰ(根岸雅史)
- ②話すことに関する問題提起Ⅱ(工藤洋路)
- ③話すことの指導実態(津久井貴之 & 工藤洋路)
- ④話す活動の体験 & 議論Ⅰ
- ⑤話す活動の留意点(長沼君主)
- ⑥話す活動の体験 & 議論Ⅱ
- ⑦話すことの評価Ⅰ(津久井貴之)
- ⑧話すことの評価Ⅱ(長沼君主)

①話すことに関する問題提起 I (根岸雅史)

別資料参照

②話すことに関する問題提起Ⅱ（工藤洋路）

別資料参照

英語全国テスト 即興の質問に答えさせる問題も

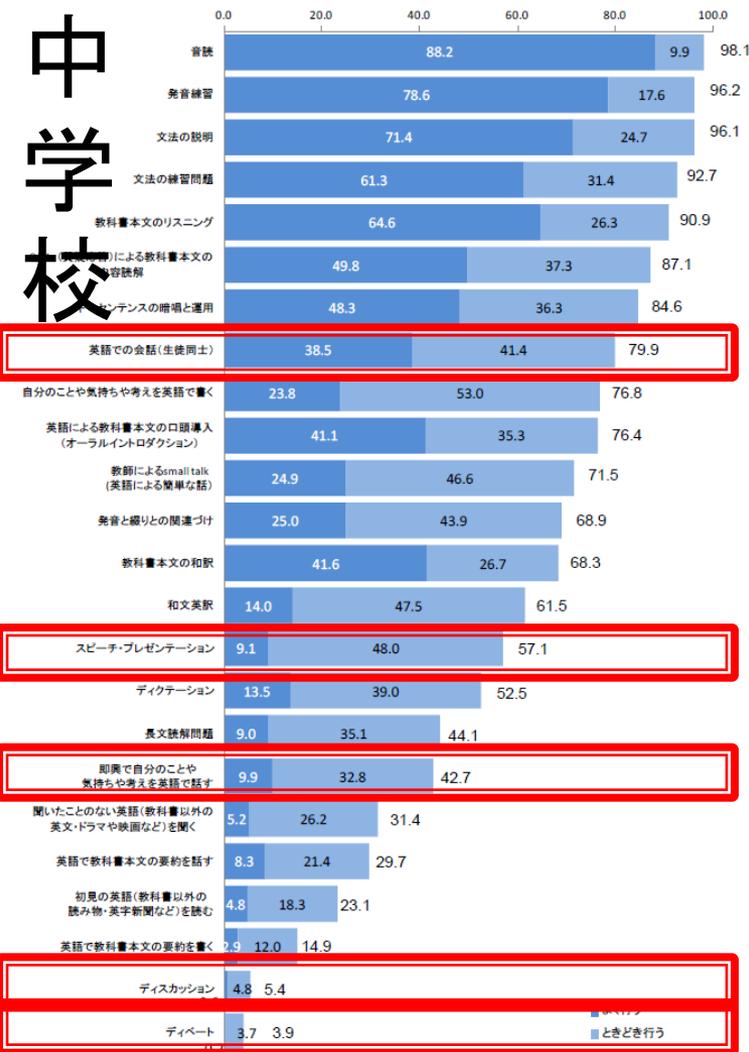
12月1日 6時54分

英語の能力の向上を目指して、中学3年生を対象に導入が検討されている英語の全国テストについて、文部科学省は、特に課題とされている「話す」能力などを調べるため、試験官からの即興の質問に、生徒に英語で答えさせる問題などを盛り込む方向で検討を進めることになりました。文部科学省は平成31年度を目指して、中学3年生を対象に英語の全国テストを導入する方針で、「聞く・話す・読む・書く」の4つの能力をはかりたいとしています。テストの具体的な内容は専門家を集めた会議で検討が進められていますが、これまでに出题する問題についての論点がまとまりました。それによりますと、特に日本人が課題とされている「話す」能力については、試験官が示すイラストの内容を英語で説明させたり、試験官の即興の質問に英語で答えさせたりする問題を出題することが検討されているということです。また、与えられた課題に対する自分の考えや気持ちを数十字の英語で表現するよう求める問題なども検討されているということです。文部科学省はこうした論点を、1日開かれる全国学力テストの専門家会議に報告し、来年度中に基本方針をまとめることにしています。

(<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20151201/k10010324871000.html>)

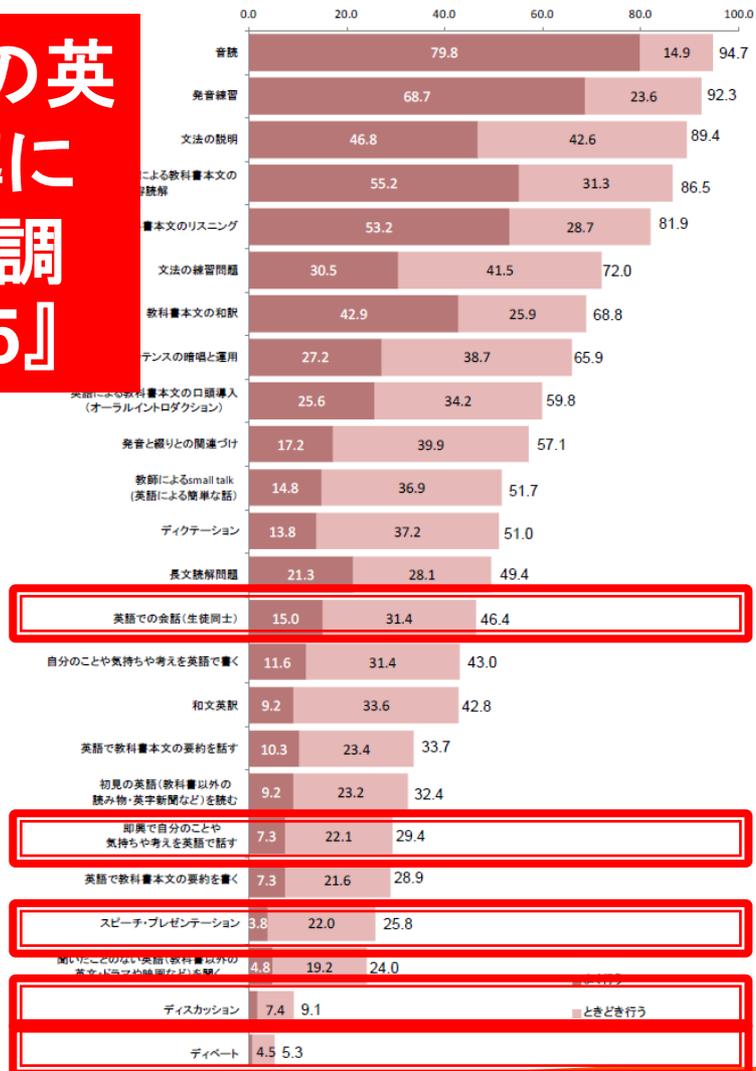
上智大学・ベネッセ英語教育シンポジウム2015

中学校



『中高の英語指導に関する調査2015』

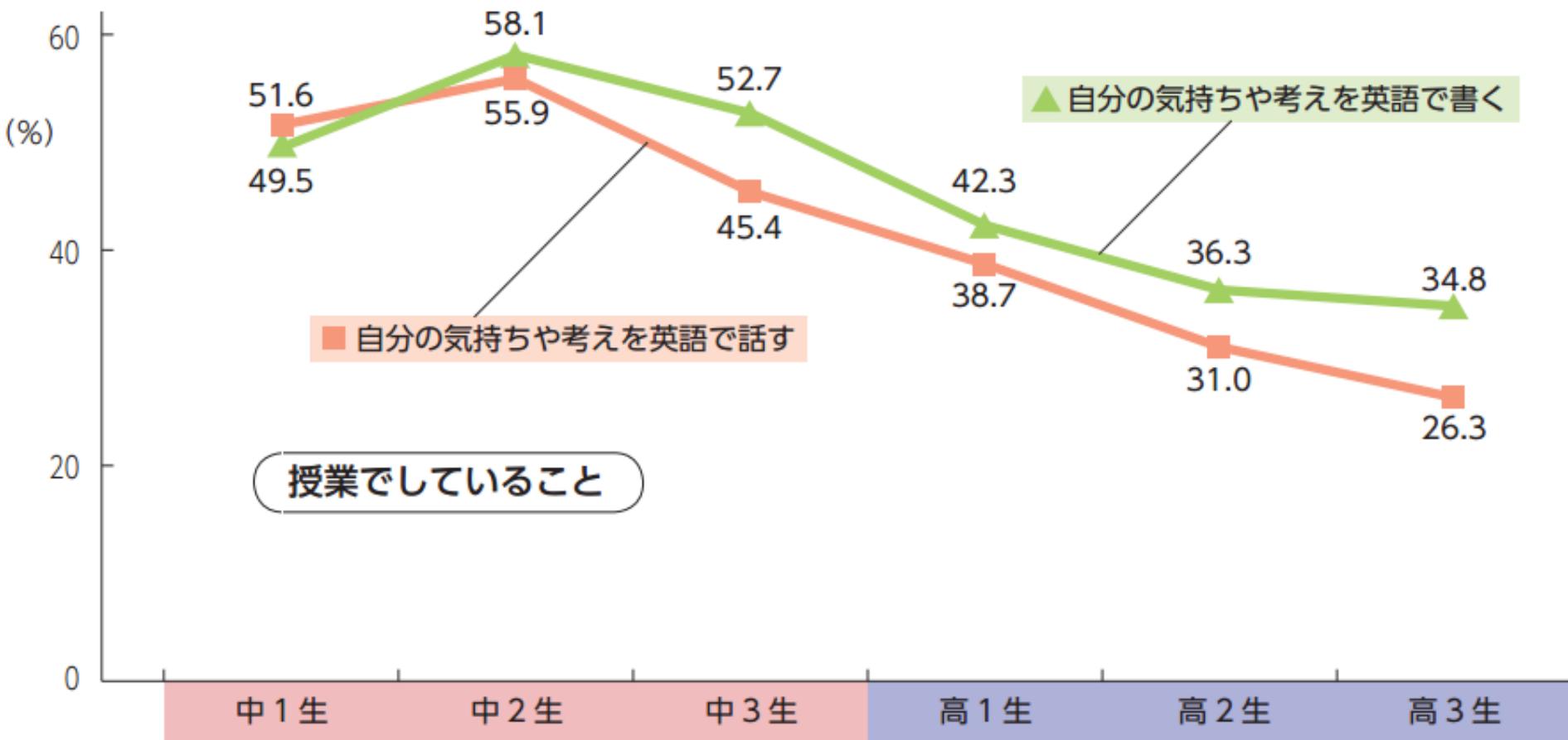
高校



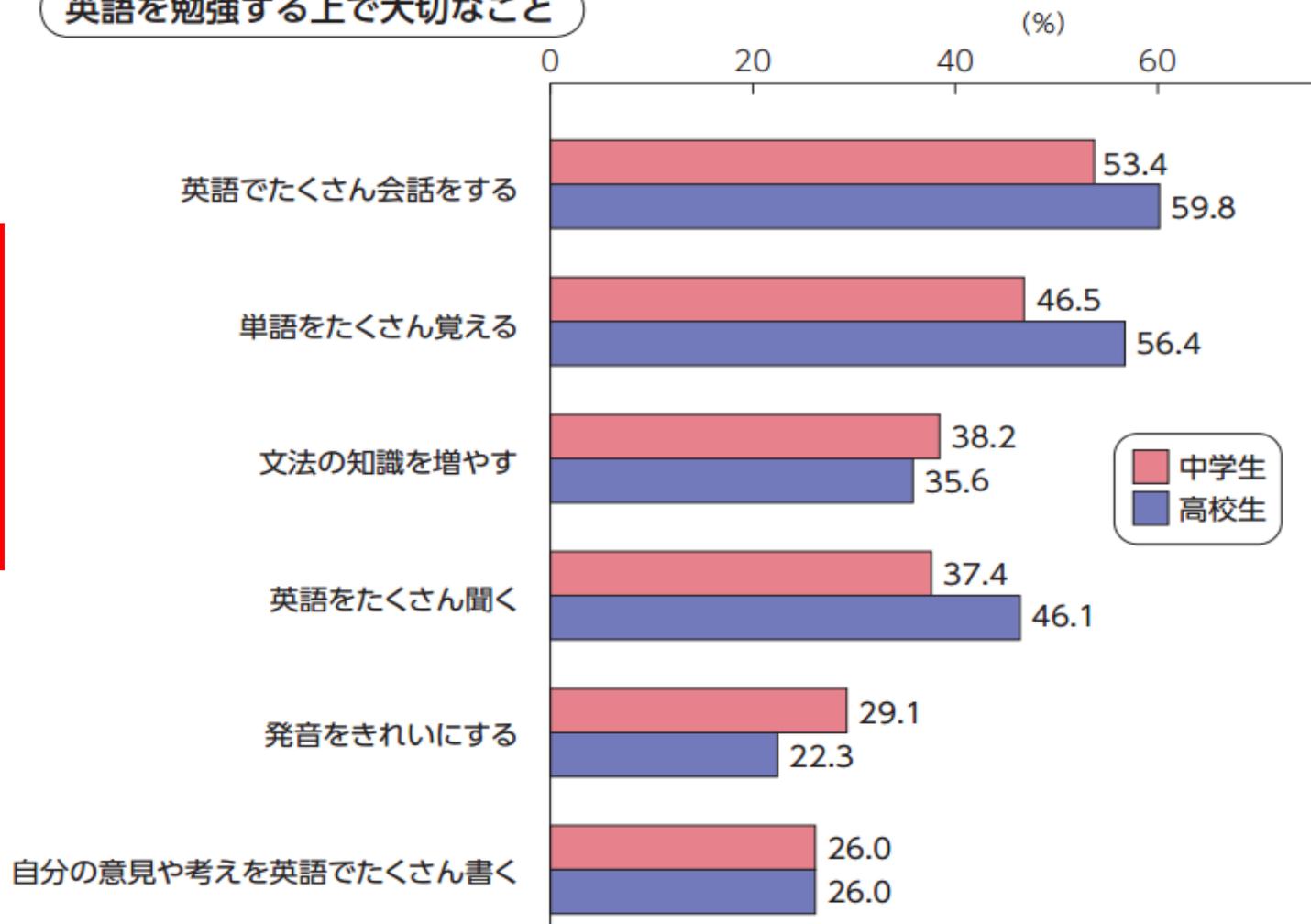
『中高の英語指導に関する調査2015』

項目	中学校	高校	
受けない研修 「話す力の指導方法」	58.0%	58.0%	全項目 中トップ
生徒の学習における つまずき 「話すことが苦手」	24.2%(とても) 45.0%(まあ)	38.8%(とても) 40.2%(まあ)	「書くこ と」トップ
悩み 「話すことの評価方法 が分からない」	3.7%(とても) 26.6%(まあ)	7.5%(とても) 33.2%(まあ)	「書くこ と」とほ ぼ同じ

『中高生の英語学習に関する実態調査2014』



英語を勉強する上で大切なこと



『中高生の
英語学習に
関する実態
調査2014』

③話すことの指導実態

—津久井先生への質問を通して—

Q1.

中2から話すことの言語活動が減ってきているのはなぜか？ また、この現象をどう捉えればよいか？

③話すことの指導実態

—津久井先生への質問を通して—

Q2.

話す活動は、授業の中の様々な場面で実施が可能だと思われるが、通常の授業の中では、定期的
に実施するのは難しいのか？

(参考：配布資料

「英語の授業におけるスピーキング活動」)

③話すことの指導実態

—津久井先生への質問を通して—

Q3.

話すことにも

「準備あり」と「即興」、

「発表」と「やりとり」、

のように、種類がいくつかあるが、これらの指導の実態や在り方はどのようなものか？

③話すことの指導実態

—津久井先生への質問を通して—

Q4.

中高生が「話すことが苦手」と言った場合、具体的には何が苦手なのか？

③話すことの指導実態

—津久井先生への質問を通して—

Q5.

中高生は「英語で会話をすること」の重要性を認識しているが、実行には移していない(移せない)という、「意識と行動のギャップ」を我々はどう捉えるべきか？

③話すことの指導実態

—津久井先生への質問を通して—

Q6.

教科書本文の理解確認のためのQ&Aは、口頭で答えれば、それは基礎的なスピーキング力を高める活動にはならないか？ また、技能統合型の活動としても機能するのではないか？

③話すことの指導実態

—津久井先生への質問を通して—

Q7.

先生方が受講したい研修のテーマとして「話すこと」が上位に来ているが、具体的に先生方はどのような研修の受講を希望しているのか？

③話すことの指導実態

—津久井先生への質問を通して—

Q8.

(評価の話は後ほどになるが…)

評価方法が分からないという理由で、話す活動の実施が避けられているということはあるのか？

④話す活動の体験 & 議論 I

早速ペアワークを行います。

ペアになってください。

以下に示されるトピックで2分間英語で話をしてください。

Do you have any plans for next weekend?

④話す活動の体験 & 議論 I

活動の振り返り<1>

- 2分間続けられたか？
- 続けるのに工夫したことは何か？
- 続けられなかった場合、それはなぜか？
- 片方だけが多く話していなかったか？
- トピックから話が逸脱していったか？

④話す活動の体験 & 議論 I

活動の振り返り<2>

- どんな力を育成するために行う活動か？
- 活動の設定や条件は適切だったか？
- 効果的に活動を行うために必要なことは？
- 活動の事前・事後にすべきことはあるか？
- (私が教えている)生徒に対しては…

⑤話す活動の留意点(長沼君主)

別資料参照

⑥話す活動の体験 & 議論Ⅱ

<話し手>

- Well...やI've never thought about it.などで間を埋める
- 上手く言えない時に別の表現で述べる
- 1回に2文以上話す
- 相手にも質問をする

次の体験では、個人でどれか1つを意識して使う

<聞き手>

- 相づちや相手の発話の繰り返しなどのリアクション
- 分からないことやもっと知りたいことを質問
- 相手が詰まったとき、まずは自分のことや一般論を語る

⑥話す活動の体験 & 議論Ⅱ

同じペア、同じトピックで、同じく2分間英語で話す
ただし、設定(状況)を追加する

<役割A>と<役割B>を決める(じゃんけん)

次のスライドは<役割A>の方のみ見てください。

⑥話す活動の体験 & 議論 II

トピック

Do you have any plans for this weekend?

<役割A>

いつも忙しくしているBさんと次の週末に一緒に出かけたいので、Bさんの予定を探りながら、うまく誘う

⑥話す活動の体験 & 議論Ⅱ

同じペア、同じトピックで、同じく2分間英語で話す
ただし、設定(状況)を追加する

<役割A>と<役割B>を決める(じゃんけん)

次のスライドは<役割A>の方のみ見てください。

次のスライドは<役割B>の方のみ見てください。

⑥話す活動の体験 & 議論 II

トピック

Do you have any plans for this weekend?

<役割B>

Aさんから次の週末（特に予定は入っていない）に、出かけようと誘われそうだが、あまり乗り気ではないので、うまく断る

⑥話す活動の体験 & 議論Ⅱ

<話し手>

- Well...やI've never thought about it.などで間を埋める
- 1回に2文以上話す
- 相手にも質問をする

次の体験では、個人でどれか1つを意識して使う

<聞き手>

- 相づちや相手の発話の繰り返しなどのリアクション
- 分からないことやもっと知りたいことを質問
- 相手が詰まったとき、まずは自分のことや一般論を語る

⑦話す活動の体験 & 議論 II

活動の振り返り

- 1回目の活動と何が違うか？
- 意識して用いたストラテジーの効果は？
- ロールプレイの設定の効果は？
- どんな力の育成が可能か？
- (私が教えている)生徒に対しては・・・

⑦話すことの評価 I (津久井貴之)

別資料参照

⑧話すことの評価Ⅱ（長沼君主）

別資料参照